

盆栽ビジネスコンテスト～伝統と革新でその先へ～ 最終審査兼表彰式 開催概要

さいたま市では、令和7年12月22日(月)に、「盆栽ビジネスコンテスト～伝統と革新でその先へ～」を初開催しました。本ビジネスコンテストは、世界に誇る「大宮盆栽」の文化を100年後の未来へと継承することを目的とし、次世代に向けた新たな価値創出を目指すビジネスプランを全国から広く募集したものです。

応募があった134件のうち、一次審査を通過したファイナリスト8者がプランの発表を行い、Jinshariが最優秀賞を、石井秀樹氏が優秀賞を、有限会社二つ巴が特別賞を受賞しました。

当日は、120名を超える一般観覧者が来場し、応援したいビジネスプランへ投票して審査に参加したほか、盆栽師の廣田敢太氏が盆栽剪定デモンストレーションを行うなど、ファイナリストの情熱と相まって、熱気と興奮に満ちたビジネスコンテストとなりました。



表彰式での集合写真(ファイナリスト・清水市長・審査員)



受賞者の集合写真(左:優秀賞 石井氏、中央:最優秀賞 Jinshari、右:特別賞 (有)二つ巴)



最優秀賞を受賞したJinshariによるプレゼンテーションの様子

各受賞者のビジネスプランの概要と受賞後の喜びの声



最優秀賞 Jinshari

受賞名・受賞者名



優秀賞 石井 秀樹氏



特別賞 (有)二つ巴



プラン名

生成AIを実装した盆栽管理アプリによる輸出盆栽のアフターケア

大宮盆栽村クラインガルデン～盆栽園併設型・賃貸レジデンス～

ART BONSAIDER
[盆栽×XR]

概要

生成AIを実装した盆栽管理アプリにより、海外へ輸出された日本産盆栽の「デザイン」と「生育管理」のアフターケアを支援。

相続等で細分化が危惧される大規模宅地に盆栽園併設型賃貸併用住宅を導入。不動産経営の付加価値と収益性を高め、盆栽園と地域景観を未来に残す。

盆栽を「鑑賞」から「体験」へ革新する没入型XRアート事業を提案。盆栽の本質を直感的に理解する新たなタッチポイントを体験型のXR展示により創出。

受賞後の喜びの声

海外の愛好家や販売業者と対話を重ねて作り上げてきたプランに共感いただけたことを心より嬉しく思います。今回のご縁を大切に、関係者の皆様のお力もお借りしながら、事業化に向けて邁進して参ります。

大宮盆栽村の危機の本質は土地問題です。これに一石を投じて受賞に至った事は、未来に対する“責任”として引き受けたいです。事業化が提案できるコンソーシアムも立ち上げたいです。ご指導・ご協力よろしくお願ひいたします。

3年前から考えたプランであり、これを盆栽の聖地である大宮で、発表できたことを大変嬉しく思います。また、特別賞を受賞することができ、これまでのことが報われました。引き続きよろしくお願ひいたします。

トピック1:盆栽剪定デモ



盆栽師の廣田敢太氏による盆栽剪定デモを実施。廣田氏の解説を聞きながら、盆栽師としての盆栽への想いなどに触れることができる機会となりました。

トピック2:交流会の開催



ファイナリストと一般観覧者との交流会を開催。当日の交流のほか、ファイナリストへのメッセージを渡すことができるなど、イベント後の継続したコミュニケーションにつながる機会も創出しました。